

サイクロン

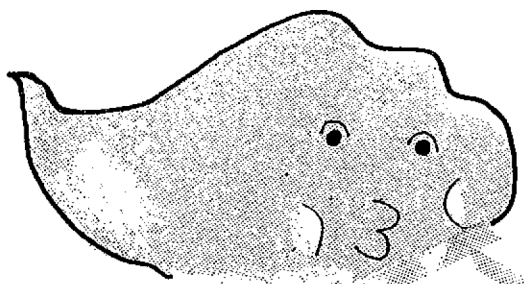
インドの南、インド洋で発生した熱帯性低気圧をサイクロンと呼びます。cyclon と表記します。
 Kyklon ← 語源はギリシア語で「単輪、蛇のとぐろ」を意味するとか…。サイクロンは本来 世界共通語として使われていますがインド洋だけに自前の呼称がなかったことからそのままインド洋で発生する熱帯性低気圧に用いられるようになったようです。

タイフーン・ハリケーンを含む熱帯性低気圧の研究論文は 共通の概念として cyclon を用いているようです。

近年、世界のあらゆる所で台風による大きな被害が報告されています。台風とはあまり縁のなかつたヨーロッパでもハリケーンの被害を受けています。この原因は地球の温暖化にあるのではと言われています。地球の温度が上昇したことで熱帯低気圧を発生させる場所を広げてしまったから…自然災害と言われるこれらの被害も実は私達が要因をつくつてしまっているんです。

発生場所でも名前が変わる...

台風



台風

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯性低気圧」と呼びます。このうち 東経180度より西の北太平洋と南シナ海で発生して 最大風速が毎秒17.2m以上になったものを台風と呼びます。英語では typhoon と表記します。語源は中国語の tai fung (大風) やギリシア語の taphoon (風の渦巻) から由来していると言われます。

台風は 地球の自転の影響で北へ向かう性質を持っています。東風の吹く低緯度では西へ流されながら北上し 偏西風の吹く中高緯度に来ると高速になり北東へと進みます。北東から南西に斜めに位置する日本は正にこのしーちにおおているので全国的な影響を受けやすいんです。

国際的気象用語
 タイフーン
 Typhoon は
 最大風速 33m/s
 の強い台風を指します

ハリケーン

(毎秒)
 最大風速 33m/s
 以上の

台風と同じように強い風の吹く熱帯低気圧が東経180度より東のアフリカ南部やオーストラリアの東側で発生するものをハリケーンと呼びます。hurricane と表記しますが語源はスペイン語の huracan (暴風の神) という言葉に由来していると言われます。

もし、日付変更線のある東経180度線を越えるとハリケーンは台風になり、戻って来ると元のハリケーンになるんです。

台風 or ハリケーン?

